

2025年度 池上どろんこ保育園 事業計画書

I. 基本方針

児童福祉法及び保育所保育指針をすべての基礎とし、どろんこ会グループの理念、保育方針、運営本部ミッション及び、大田区の「大田区幼児教育振興プログラム」に沿って、子どもの最善の利益に考慮し、保育の専門性を備えた組織として子ども一人ひとりの育ちや保護者を支えるべく、日々学び努めていく。

原点回帰～毎日の時間を大切に人格形成の基本を確実に丁寧に～

- ① 「保育品質マニュアル4-2 基本活動」の深く理解する～ホンモノの体験を～
- ② 「畠仕事・生き物の世話・たい肥作り」を確実に丁寧に行う～毎日の活動を大切に～
- ③ 「混ざる」その先へ 健常児も障害児も生きる力を獲得する

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子どもの姿を多角的にとらえ、適切な援助を考える
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・常に子どもの言動の背景を捉えながら、都度子どもの心情を考え、関わりを行っていく。 ・子どもの姿から計画や援助を考えるにあたり、子ども感や保育感、必要な情報や事実を見つける力と共有する力を園内外の研修や日頃の職員同士の会話の中で身に着けていく。 ・発達に合わせた援助をドキュメンテーションなどから振り返り、隨時見直しを図る。
2	計画・ねらい	子ども自身が周囲の環境に働きかけ、生活を作っていく
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で自身の所属するコミュニティを良くするために、異年齢、同クラス、様々な形態での話し合いの場を設け、一人ひとりの発信を受け止めつつ、規範性や道徳意識を身に着けていく。 ・クラスの垣根を越え、職員同士が子どもに合わせて動ける柔軟な関係性作りを行う。また、子どもも年齢で分けるのではなく、個々の発達や子どもの興味や関心に合わせて活動を行っていくよう努める。
3	計画・ねらい	保育士、栄養士、用務員など全職員で充実したチーム保育を行う
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに必要な活動等を全職員が個々に考え、提案実行を行っていく。 ・いつどのクラスに入っても、子どもの発達に合わせた援助ができるよう、日頃から職員同士で異年齢の保育を行い、指導をし合うようにする。 ・自分で考え、その後に同僚、リーダー、主任や施設長に相談するなど、全員が考え続ける集団となり、より良い保育を行うように努める。また、職員の心身の健康にも十分考慮し、効率的に職務に当たるようにする。

〈2〉保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	日頃から保護者とのコミュニケーションを通じ信頼関係を築き、相談・助言を求めやすい、開かれた園づくりを行っていく
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時、降園時の丁寧な対応 ・ケガや健康面に関しての、保護者、スタッフの情報共有、相互理解 ・園生活のみならず、家庭においての子育て、しつけ、遊びに関しても、求めに応じて個人面談の場を設け助言や一緒に考えていくように努める。 ・個人面談を行いやすい工夫をし、子どもの成長と共に感じていけるようにする。
2	計画・ねらい	園生活や子どもの理解を深めていただくために保育内容の可視化
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンテーション日誌、各クラスの月間活動 ・クッキング、畠活動などのポートフォリオを掲示することで保育の可視化を行う。
3	計画・ねらい	実際に園行事や保育参加をしていただくことで、園での実生活を体験して頂き、理解や関心を高めていく。
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・園行事や保育参加への積極参加の呼びかけを行う ・保育内容や園行事を事前に知らせる。 ・保護者と園児の関わりを増やし、全体で子育てを行う風土を作っていく。

〈3〉地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	園の取り組みを地域に発信し、園や法人の活動の認知を広げる
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街ツアーでお世話になっている店等に、園の取り組みや行事を知らせていく。 ・ブログ、SNSなどにより保育活動を発信していく。
2	計画・ねらい	青空保育により近隣の方に保育に対する興味、関心を持っていただく
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回 佐伯山緑地にて実施
3	計画・ねらい	園見学や園庭開放等、園に足を運んでいただく
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・青空保育時にちきんえっぐや子育て支援活動を、チラシ等を配布して知らせていく。 ・来園された方々に行事予定表などをお渡しし、来園していただく機会を増やしていく。 ・子育て相談隨時実施

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	保育ドキュメンテーション研修/子どもの育ちや心情を読み取る
	実践予定内容	ドキュメンテーション作成、振り返り
2	計画・ねらい	環境構成研修/子どもの主体性を考える
	実践予定内容	物的環境、人的環境、子どもの人権を学ぶ
3	計画・ねらい	インクルーシブ保育研修
	実践予定内容	エピソード研修、園長大学の動画視聴

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	畠の改良
	実践予定内容	土づくりにこだわり、質の高い野菜作りを行う
2	計画・ねらい	火・水・土に関わる体験強化
	実践予定内容	自然や身近な自然現象に触れ合う中で、気象や環境等について考える。
3	計画・ねらい	季節や環境に合わせた園庭作り
	実践予定内容	グリーンカーテンや彩色、音等の環境に配慮し、様々な気候の中でも積極的に活動したくなる環境を用意する。

子どもの人権を尊重した関わり

1	計画・ねらい	丁寧な保育の基本を徹底する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの援助を行う際、子どもに言葉を掛け安心感の中で生活を送ることができるようにする。 ・子どもの発達過程の理解に努め、個人の成長段階に合わせた援助や環境構成を行う。
2	計画・ねらい	子どもの表現や言論の自由を守る
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの話を最後まで聞く姿勢や対話を行うことで、より子どもから発信したくなる雰囲気を作る。 ・大きな声で呼んだり、指示を出すことで子どもに圧が掛からない様、子どもが話を必要としているタイミングを見極め、話しかけたり、問い合わせを行ってく。
3	計画・ねらい	活動やドキュメンテーションを子ども達と振り返る
	実践予定内容	活動やドキュメンテーションを振り返り、その時子どもはどう思ったのか、振り返った後子どもたちは何をしたいのかを表現し、子ども自身で見通しや期待を持てるように援助していく。

2.施設運営

〈1〉施設情報

児童定員

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
0人	10人	12人	15人	15人	15人	67人

〈2〉開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉スタッフ構成（3月1日時点）

常勤 スタッフ	保育士	9人	看護師	0人	栄養士	2人	調理員等	0人
パート スタッフ	保育士	4人	補助	0人	調理	0人	事務	1人
	用務	1人						

3. 運営方針

〈1〉施設内会議の開催(勤務時間内)

施設内会議名	頻度	会議内容
園会議	月1回120分	<ul style="list-style-type: none"> ・当月の行動計画の成果発表 ・次月の行動計画決定 ・園内研修
給食運営会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・食育計画作成 ・食育活動実施内容 ・喫食状況（残食の記録等）確認 ・検食簿指摘事項改善 ・配膳方法
事故防止委員会	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・自園及び系列園で起きた事故のケーススタディと改善策策定 ・前年事故防止委員会での内容共有 ・当月のヒヤリハット、インシデント分析
ケース会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援児個別計画の振り返り及び省察 ・要支援児個別計画の見直し
食育会議	年4回	エリア開催の食育会議の内容を、施設長から調理員をはじめ園のスタッフへ伝え、園内で協議する

〈2〉法人指定施設外会議への参加(勤務時間内)

施設外会議名	頻度	会議内容
施設長会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡及び経営Visionとの接続
施設長勉強会	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント、コンプライアンス等 ・各園／課題改善計画立案及び取り組み成果発表
食育会議	年4回	<ul style="list-style-type: none"> ・献立内容の改善、提案

		<ul style="list-style-type: none"> ・給食提供マニュアル及び運用ルールの作成、見直し ・食育計画作成
保健会議	年4回	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策やガイドラインの作成、改善 ・保健計画策定
主任会議	年4回	各園の課題改善アクションプランの進捗確認と共有、マネジメント研修
子育ての質を上げる会議	月1回	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント、コンプライアンス等 ・各園／課題改善計画立案及び取り組み成果発表

〈3〉各種係の設置

係名	職務内容・役割
衛生管理係	園内の安全管理や備品などの管理・衛生点検
安全対策係	避難訓練・環境安全整備
防火管理者	避難訓練の立案・実施・反省
食品衛生責任者	食材の衛生管理・在庫確認と管理
畠係	畠の管理・栽培計画
生き物係	飼育動物の管理

〈4〉行事別係の設置

係名	職務内容・役割
どろんこ祭り係	保護者と共同で、行事内容の計画と進行

4.保育方針

〈1〉基本方針

乳児保育	上半期 0～2歳児	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの生理的欲求を満たし、養護の大切さを認識し、子どもに共感する中で、安心して園生活が送れるようとする。特に丁寧な養護的関わりに重きを置き、子どもに応答的な対応を行うようとする。 ・一人ひとりの子どもの発達状況を的確にとらえ、応答的な対応をする中で、子どもが自ら育とうとする力を援助する。
------	--------------	---

		・子どもの興味・関心を尊重し、自ら見つけた遊びやセンス・オブ・ワンダーを充分に経験させる。
	下半期 0～1歳児	・物、人と自ら関わろうとする姿を大切にしながら、満足感や充実感が得られるような生活や遊びを大切にする。 ・他児や周囲の人への関心が高まる時期と捉え、自我の芽生えを充分に培う。
幼児保育	上半期 3～5歳児	・基本的生活習慣を身につけ、自主的に身の回りのことに取り組む。 ・保育園生活に楽しみや期待を持ち、見通しを持って生活を送ることが出来るようになる。 ・友だちや異年齢の子どもたち、保育者との触れ合いを通して、人の関りやコミュニケーションを身につけ、できないことは助けを求めるなど自立を図る。 ・文字や数字、社会事象や自然に興味関心を持ち、深めていくことができるように対話的に関わる。
	下半期 2～5歳児	・子どもが生活や遊びに主体的に関わりながら、思考、判断の経験や力を育み、子どもが能動的に園生活を行えるよう、全職員は柔軟に対応をするように努める。 ・生活や遊びを振り返りながら、自身や友だちと次の活動に向けた見通しを立てる。 ・異年齢保育の中で様々な活動や経験を行い、自分のできることに自信を持ち、進級や進学への期待を持つ。
保育参加	4～3月	希望保護者による保育参加/参加後アンケート記入依頼
保護者面談 発達相談	随時	・随時、希望する保護者に対し実施 ・「保護者面談記録」「子育て相談記録」を活用
意見・要望への対応	随時	・連絡帳、口頭でのご意見についても苦情対応マニュアルに従い「ご意見ご提案シート」を活用
運営委員会	年2回	6月27日と11月21日に実施予定

〈2〉 年間行事計画

- ・2025年2月及び3月に開催の「年間計画策定会議第1回・第2回」にて決定し、別紙「2025年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 納食・食育運営方針

I	計画・ねらい	好きな人と好きな場所で、好きな量を食べられるような環境作りを行い、食事の時間を楽しめるようにする
	実践予定内容	一人ひとりの生活習慣や喫食量を把握することに努め、自分で選び取れる

		ようにしていく。また、戸外活動を十分に行い、空腹感から食事に移行できるようにしていく。
2	計画・ねらい	子どもと一緒に食に関わる活動を日々継続的に実行していく
	実践予定内容	保育者は日課活動の意識を徹底し、子どもたちが自立して、考えを巡らせながら行えるようにしていく。
3	計画・ねらい	保育士、栄養士は一体となり、専門性を活かして「食を営む力」を育むために計画と振り返りを行う。
	実践予定内容	子ども一人ひとりの職への興味を写真やエピソードを用い、職員間で共有し、発達にあった食具や畠活動を行うようにする。

〈4〉保健計画

園児健康診断	年2回（6月・11月）
歯科検診	年1回（6月）
保健だより	月1回（25日）発行
スタッフ健康診断	年1回
スタッフ検便	全スタッフ月1回（5日）
園児への保健指導・取組等	・歯磨き指導、手洗いうがい指導 ・手足口病、ヘルパンギーナ、とびひ、RSウイルス等の注意喚起
流行が予測される感染症	通年…新型コロナウイルス 感染症予防のためのうがい・手洗い指導、定期的な換気と消毒の実施 11～3月頃…ノロウイルス・感染性胃腸炎 12～2月頃…インフルエンザ
発作・痙攣等の対応のための薬の預かり	ダイアップ…2名より預かり済み／事務所にて保管
エピペン使用できるスタッフ	本日現在16名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員1名については4月1日までに受講予定
AED使用できるスタッフ（AED設置施設のみ）	本日現在11名が、研修受講し、修得済み 未受講の新入職員13名については4月1日までに受講予定
その他保健に関する取組	ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導を行う。また消毒・換気を徹底する。 月に1度頭髪検査を行い、アタマジラミに注意する。

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	年2回／6・12月の25日
	避難消火訓練	毎月1回／15日
	不審者侵入訓練	年2回／6・12月の25日
	情報セキュリティチェック	年2回／5・11月
	誤飲・誤嚥防止チェック	年4回／4・7・10・1月の25日
	フロン点検(定期1回/3年)	業者による対象物の定期点検 2023年に実施済み
	フロン点検(簡易)	年4回／4・7・10・1月の25日
衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日
	衛生管理点検表／毎月	毎月10日
	個人衛生点検簿／毎日	毎日業務開始前
	検便・細菌検査	毎月1回／5日／全スタッフ
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／4・10月
	身長体重測定	毎月1回／20日
	児童健康診断	内科健診 年2回／6・11月 歯科健診 年1回／6月
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間
	利用者アンケート調査	年1回

〈6〉環境整備

I	計画・ねらい	「自分で考え、自分で行動する」「自ら行動する力を育てるとともに、他の子どもと試行錯誤しながら活動を展開する」を基本とし、室内・室外ともに子どもが自発的に関わる環境を設定する
	実践予定内容	・子どもの声を傾聴し、子どもの興味関心から職員は黒子として時間や空間をデザインし、主体的に活動できる環境を用意していく。 ・生活や遊びの中で、今現在大人がやってしまっていることを見直し、

		子どもが自分でできることは自分で行えるような導線や環境を考えてい く。
2	計画・ねらい	異年齢保育ならではの関わりや成長を促進する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ フロアの違いや安全面が異年齢での関わりを減少させる理由とならない様、職員同士の安全に対する認識を共有し、子どもの発達から環境の見直しを図っていく。 ・ 異年齢保育のメリットを全職員で共通認識を持ち、子ども同士が関わる機会を増やすように努める。
3	計画・ねらい	安全対策や衛生管理を全職員で考え、生活のしやすい環境や動線を構成する
	実践予定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが安全に過ごすことができ、保護者も安心してお子様を預けられるよう整理整頓、清掃を徹底して行う。 ・ 生活や遊び、移動、避難などあらゆる場面で、安全に行動できる動線を作る

〈7〉手作り遊具・家具安全点検計画

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検予定期
1	平均台	定期利用室	毎日
2	梯子	定期利用室	毎日
3	配膳台	保育室	毎日
4	箱椅子	子育て支援室	毎日

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災計画の作成と届出 ・ 毎月一回の避難訓練、消火訓練の実施 ・ 災害管理マニュアル、災害フローチャートの整備、確認 ・ 災害用の備品の管理と点検
2	ケガ、事故防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケガ、事故防止の為の危機管理マニュアルの設置と理解 ・ SIDSの防止策を徹底周知と定期的にロールプレーを行う ・ 事故報告簿、インシデント・ヒヤリハット報告書の検証 ・ 投薬方法、アレルギー食の提供方法の徹底 ・ 保育士の上級救命救急資格取得、エピペン講習
3	防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアルの不審者対策に則り、不信者侵入訓練の実施 ・ カメラ付きインターホンでの防犯対策 ・ 送迎者登録カードによる園児の引き渡し
4	光化学スモッグ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光化学スモッグの知識の習得 ・ 光化学スモッグ注意報発令メールの配信システムへの登録

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉 今年度方針・テーマ

次世代の人材育成を視野に入れ積極的に受け入れを行い、保育の楽しさや重要性を実体験してもらう。また、当法人の理念を受け、意欲的に保育の職に就きたい者を支援していく。

1	実践予定内容	保育実習生の受け入れ
2	実践予定内容	中、高生の体験学習の受け入れ
3	実践予定内容	小学生の保育体験受け入れ

7. スタッフ育成と研修計画

〈1〉 2025年度 園内研修計画

(毎月開催の園会議の時間内を使用して自園にて実施)

開催日	開催時刻	名称・テーマ	ねらい・共通理解する保育課題
4月11日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子どもの人権 ③ ケガ・ケーススタディ ④ 保護者対応ロールプレイング	・事故を振り返り（通年） ・人権研修（マニュアル参照） ・事例から事故、ケガの原因と対策を検証 ・保護者対応ロールプレイング
5月16日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども理解について	・受容的、応答的、対話的な関わり
6月13日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども理解について	・共主体から考える保育計画 ・環境構成
7月11日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども理解について	・ドキュメンテーション研修 ・自身の取り組み報告
8月15日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 上期振り返り	・アプローチカリキュラムについて
9月12日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども理解について	・上期の振り返りを行い、下期への取り組みへつなげていく
10月10日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども理解について	・人権研修（マニュアル参照） ・エピソード研修
11月14日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 全体研修動画視聴	インクルーシブ保育研修
12月12日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 子ども理解について	保育ドキュメンテーション研修

1月16日	18:00～20:00	① コンピテンシー自己採点 ② 今年度振り返り	・次年度に向けて一年の振り返り ・自身の取り組み報告
-------	-------------	----------------------------	-------------------------------

〈2〉外部研修への出席

事業継続に必要な外部研修については、承認を得たうえで出席する。

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修（子育ての質を上げる会議）	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
施設長勉強会	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座	園長大学®保育士大学講座および社内限定公開講座を活用											
全社員研修	9月～11月までの間に録画視聴（全スタッフ対象）											
リーダー養成研修	選ばれたスタッフが参加予定											
デスマーケティング	希望するスタッフが応募											

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝える。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をする。

〈5〉交換保育研修

法人内の発達支援つむぎが併設されている園のインクルーシブ保育に参加し、池上どろんこ保育園内で、共有と実践計画を作成し実行する。

8. 地域交流計画

〈1〉今年度方針・テーマ

近隣小学校、幼稚園、老人ホーム訪問などを通して、近隣の方との交流を深め、地域に根差した保育園づくりめざす

〈2〉具体的な地域交流計画

活動行事	詳細		
どろんこ祭り	年1回	集客目標：300名	
青空保育（保育園主催）	月1回	公園名：池上五丁目公園にて	集客目標：25名
商店街ツアーアー	週1回		
世代間交流		老人ホーム（はせさんず）訪問	
異年齢交流		近隣幼稚園、保育園との交流、中学生、高校生の実習・職場体験の受け入れ	
地域拠点活動		ちきんえっぐ、園庭開放、保育体験	
銭湯でお風呂の日	月1回	〈3～5歳児〉	

9. 小学校との連携の計画

〈1〉今年度方針・テーマ

小学校訪問や子ども間交流を通して、就学に向けての安心感と期待感を持てるようとする。教スタッフ同士での交流、懇談により相互理解を深め、円滑な小学校接続が出来るようとする。

〈2〉具体的な連携計画

以下計画について、小学校と相談・協議を4月1日（火）より開始する。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動計画(会場)	目的
5月頃	池上小学校 1年生	2名予定	授業参観	職員間交流
6月頃	池上会館	1名予定	スタートアップカリキュラム研修	職員間交流
2月頃	池上第二小学校	17名予定	授業参観	子ども間交流

10. 要支援児計画

〈1〉個別支援計画の作成・見直し

要支援児在籍時は、個々の特性を捉え計画を立て、全スタッフで情報、対応を共有する。

〈2〉毎月のケース会議開催

(4～3月に計12回開催予定 参加者：17名予定)

日々の観察をもとに経過報告、対応策検討し、全スタッフが共通認識のもと保育にあたるようにする。

〈3〉進級引継、および、小学校への引継

クラス担任と新年度担任で年度末に引き継ぎし、継続した支援が行えるようにする。就学児に関しては幼保連絡会、要支援の場合は養護教諭や発達支援担当者との引継ぎを行う。

Ⅱ. 子育て支援事業

園に来訪した親子に都度署名をもらい、月間延来場者数を自治体に報告する。

実施項目	詳細	
園開放	(月)～(土) 9:30～16:30	集客目標：200名
子育て相談	(月)～(土) 13:00～16:30	集客目標：10名
自然食堂…親子ランチ交流	毎週(水) 10:00～12:00	集客目標：10名
どろんこ芸術学校 どろんこ自然学校	毎週(金) 10:00～12:00	集客目標：10名
勝手籠設置	(月)～(土) 7:00～20:00	
ちきんえっぐだより	毎月1日発行	
青空保育(支援センター主催)	月1回 公園名：池上五丁目公園にて開催	集客目標：25名

Ⅲ. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

受審予定なし

令和5年度2月受審済み

〈2〉園による自己評価の実施

2024年11月30日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施予定である。

自己評価開始予定時刻：16時00分

自己評価終了予定時刻：17時00分

自己評価実施予定者：施設長、主任、クラスリーダー

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用保護者に対してアンケートを実施し、評価結果を開示する。

アンケート配布予定日：8月25日

| 3.3カ年計画の具体化

〈1〉昨年度の振り返り

3月末まで に目指 した姿	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、行動する子ども ・気持ちを伝えあう子ども ・クラスの垣根を越えたチーム保育
	振り返り	<p>子どもがより主体的に生活や遊びができるように職員の子どもへの言葉かけ、声量などに配慮し、子どもの言葉に耳を傾け対話的な関わりができてきた。子どもの言葉を保育者が広げていき、異年齢の関わりをさらに色濃く充実したものにして、子どもが生活を作り出していくよう努める。</p> <p>保護者と共同で活動を行う機会が増え、多くの体験の中で学ぶことができた。また、保育参加も増えたことで保護者が保育の内容を理解したり、子どもたちとの関係性を深めたりすることができた。インクルーシブについて周知されていない現状に対し、保育の発信を強くしていく必要がある。</p>

〈2〉当年度以降の3カ年計画

2025年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に生活や遊びを考え、自ら行動していく ・子どもの発達を踏まえたドキュメンテーションなどを通して、保育士と保護者で共育への意識を高めていく
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに生活を委ねていくために、必要に応じてファシリテートするなどの関わり方を考え、試行錯誤しながら実践していく。 ・子育てを保護者と共感していく中で、ドキュメンテーションなどを使い、子どもが成長している姿を伝えていく。
2026年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に生活や遊びを考え、自ら行動していく ・保護者、地域各所に自身で法人の理念や自園の保育を伝えることができる
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに生活を委ねていくために、必要に応じてファシリテートするなどの関わり方を考え、試行錯誤しながら実践していく。 ・社会や他業種、業界動向の把握に努め、将来に必要な力を育む保育を学ぶ姿勢を常態化する。
2027年度	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが興味関心を持って活動や季節の行事に参画し、地域の活動にも参加していく。 ・地域の方同士の交流の場を増やし、繋がりを作れる保育施設としていく。
	重点施策	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者のファシリテートの元、子どもが活動や行事を計画し、その中

		<p>で子ども自身が情報を得て、学び、発信できるようにしていく。</p> <ul style="list-style-type: none">・地域の顔となるべく、時代に合わせた取り組みを計画し、保護者や地域の人に園を知っていただくよう園の情報を発信していく。また園児との交流を交えた行事も強化していく。
--	--	---

以上

作成日：2025年3月15日 作成者：池上どろんこ保育園 施設長 鈴木隆